



かけはし

ケアハウスあじさい園

URL: <http://www.ajisaien.or.jp/>

心の健康を大切に
老人性うつと認知症の最も大きな違いは、その症状までのプロセス、時間的な経過です。老人性うつの場合は症状がおおむね1ヶ月～2ヶ月の間に同時に多発的に起こります。半年ぶりに帰省した時、前回からずいぶん変わってしまったというのなら、認知症よりもうつを疑わなくてはいけません。本人にははっきりした自覚症状がある時も老人性うつが疑われます。たとえば、老人性うつでは「物忘れがひどくなつたのはアルツハイマーではありますか」と自発的に医師にかかる人が多いのです。

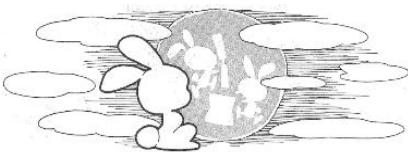
一方、認知症の場合は物忘れが始まつてから着替えをしなくなるまでに、通常5ヶ月～6年かかります。物忘れが始まつた初期の頃は、身だしなみもきれいで身の回りのことはなんでもできます。そこから5ヶ月～6年ほど経つうちに少しずつ着替えをしないとか、お風呂に入らない、お漏らししても気にしない、と進行していきます。その症状がいつから始まつたのか、家族に聞いてもはつきりしません。

認知症の場合は、物忘れが多くなつていて自分ではあまり気づいていません。そもそも病識が欠如している人が多く、自らの記憶障害にあまり不安を覚えることなくケロリとしているものです。

前述した物忘れがひどくなつた、着替えをしない、お風呂に入らなくなつた、なんとなく元気がない、1日中ボーッとしているといった初期症状は、老人性うつと認知症のどちらにも表れるので、医師でさえ見間違えることがあります。そのため、老人性うつが原因で記憶力が低下しているのに、認知症と誤ることで対応が遅れ本当に認知症になつてしまふことも少なくなることがあります。心の健康を軽んじることはできません。あれもありこれもあり、ものごとを多面的におおらかに受け入れることも大切で、メンタルヘルスの世界では「適当」が非常に大事です。

皆様と共に笑顔で過ごしますように♡

令和7年9月
第248号



9月行事予定

- 7(日) いどばた会
- 12(金) 訪問理美容
- 14(日) 敬老会
- 25(木) 食事会
- 29(月) 防災訓練



お誕生日

おめでとうございます

A様

(95歳)



新入居者様のご紹介

北村 環 様 8/12 ご入居
皆様 よろしくお願ひ致します。



8月24日・31日(日)

山添村上津ダムに
行きました！

